

学び舎ユネスコ News no.10

2016年4月発行

【発行】学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

http://www.unesco.or.jp/manabiya/

E-mail: manabiya@unesco.or.jp



小平市市民活動支援公募事業

「第8回学び舎ユネスコ教養文化講座」を開催

3月27日(日)午後1時半より小平市中央公民館において「第8回学び舎ユネスコ教養文化講座」を開催しました。当日は、花冷えもあり小平の桜は3分咲きでしたが、どっこい立川の昭和記念公園や残堀川から玉川上水に続く2Kmの遊歩道は桜のトンネルとのこと。早々、お花見のお誘いを頂戴しました。

さて当日の会場は、開会の時点で100名を超えるご来場者でした。あわてて椅子の補充を致しましたが、配布資料が足りなくなりご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。



学び舎ユネスコ
渡部一三会長

昨年9月「小平分水網は生きている!! 小平の歴史遺産にしよう」のテーマで、同講座を開催しましたところ、市民の皆さまの多数のご参加とご好評をいただきました。そこで今回、第二弾として玉川上水・小平分水網に的を絞り、「小平分水網は生きている—私たちの故郷を歴史的地域遺産に、そして豊かな緑を未来の子供たちに引き継ぎましょう」をテーマに、二部構成で開催しました。多数の皆さまのご参加をいただき、玉川上水・分水への関心の一層の高まりを痛感しました。



田畑貞壽千葉大名誉教授

第一部は、学び舎ユネスコ水と緑・環境委員会メンバーにより、特に小平分水網の原型となった小川分水路の踏査内容にスポットを当て、中間報告を行いました。江戸時代から多摩川の源水が流れる用水に思いを馳せつつも、今日の遺産として如何に保存し、次世代の子供たちに伝え繋いで行けばいいのか、分水路を歩いて、その難しさを知る思いでした。また玉川上水・分水網への関心の高さに比して、ご参加いただいた皆さまの多くが、分水網を実際に歩くことも、触れる機会も少ないことも知らされました。

第二部は、田畑貞壽千葉大名誉教授による「玉川上水と分水網の文化的景観価値と保全活動」と題した講演でした。玉川上水・分水網が江戸時代からの世界に誇るべき歴史文化景観としての資産価値評価を、既に多方面・各界から受けていることを踏まえ、その保全については、市民と行政との協働プロジェクトで考え推進していくことなど、次世代に引き継ぐヒントとなる貴重なご示唆をいただきました。

今回は盛り沢山の内容となり、会場は熱気と活気に溢れ、且つ数多くのご質問ありで、閉会の予定時間を大きく超えましたが、最後まで熱心にご参加・ご清聴いただきました。



場内の様子

「総会及び記念講演会」のお知らせ

2016年6月12日(日) 13:30～ 小平市小川公民館 2階 ホール

「今、なぜ再びUNESCOの平和理念が必要か、子ども達への期待」

講師：鈴木 佑司氏 (公益社団法人日本ユネスコ協会連盟副理事長・法政大学教授)